学校番号	２１２

令和３年度　公民科

教科	公民	科目	現代社会	単位数	２単位	年次	１年次
使用教科書	「最新　現代社会」新訂版（実教出版）						
副教材等	なし						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・世の中の出来事が自分の身の回りでどのように起きているか、興味・関心をもつ。
・できる限り、新聞やテレビなどで時事ニュースに触れる。
・さまざまな立場からものごとを考えられるようになってほしい。

２　学習の到達目標

１．現代社会と人間について、広い視野に立って理解を深める。
２．現代社会の基本的な問題について、主体的に考え公正に判断する力や、人間としての在り方生き方について考える力の基礎を養う。
３．自らの個性を発揮し、文化・福祉の向上、発展に貢献する能力と、平和で民主的な社会生活の実現、推進に向けて主体的に参加・協力する態度を育む。

３　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c: 資料活用の技能	d:知識・理解
観点の趣旨	現代社会の基本的問題と人間に関わる事柄に対する関心を高め、意欲的に課題を追究するとともに、平和で民主的なよりよい社会の実現に向けて参加、協力する態度を身につけ、人間としての在り方生き方について自覚を深めようとする。	現代社会や人間に関する課題を見いだし、そのものの本質や人間としての在り方生き方について広い視野に立って多面的・多角的に考察する。	現代社会の問題点や人間の事柄に関する諸資料を様々なメディアを通して収集し、有用な情報を適切に選択して、効果的に活用している。	現代社会の基本的問題と人間としての在り方生き方に関わる基本的な事柄や、学び方を理解し、その知識を身に付けている。
評価方法	授業時の発問に対する回答	授業時の発問に対する回答 定期考査	プリント作業（資料読み取りなどの） 定期考査	定期考査

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1学期中間	第1部　わたしたちの生きる社会	第1章　地球環境問題 1. 破壊される地球(1) 2. 破壊される地球(2) ○地球環境の危機 3. 地球環境問題への取り組み ○自然の保護と再生 第2章　資源・エネルギー問題 1.　限りある資源 ○資源をめぐる動向 2. エネルギーの開発と利用 ○原子力と再生可能エネルギー 3. 人口問題と食料・水資源 ○人口と食料 第3章　生命科学と情報技術の課題 1. 人間の生死と生命科学 2. 遺伝情報と利用の諸課題 3. 高度情報化社会と情報倫理	 ○ ○ ○ ○ ○	 ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	 ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○

2学期中間	第2部 現代の社会と人間	2 現代の民主政治と日本国憲法					a:現代の民主政治に対する関心を高め、基本的人権の保障、国民主権、議会制民主主義、平和主義などを意欲的に追究しようとしている。 b:現代の民主政治から課題を見出し、民主政治のあり方や国会・内閣・裁判所の機能と権限について、様々な立場や考え方を踏まえたうえで、口頭や文章などで適切に説明・表現している。 c:民主政治とその課題に関する諸資料を様々なメディアを通して収集する。収集した資料の中から個人と国家の役割や民主社会に主体的に生きる人間の在り方について学習に役立つ情報を主体的に選択して活用している。 d:日本国憲法の基本原則や立法権・行政権・司法権、政治参加の意義などについて理解し、その知識を身に付けている。	授業時の発問 資料読解 課題プリントやノートの提出 定期考査
		第1章 現代国家と民主政治						
		1. 民主政治の成立と基本原理	○			○		
		2. 民主政治のしくみと課題	○			○		
		3. 世界の主な政治制度	○			○		
		第2章 日本国憲法の基本的性格						
		1. 日本国憲法の制定と基本的性格			○	○		
		2. 自由に生きる権利		○	○	○		
		3. 平等に生きる権利		○	○	○		
		4. 社会権と参政権・請求権		○	○	○		
		5. 新しい人権	○	○		○		
		6. 人権保障と公共の福祉		○		○		
		7. 平和主義とわが国の安全	○	○		○		
		8. こんにちの防衛問題		○	○	○		
		第3章 日本の政治機構と政治参加						
		1. 政治機構と国会		○	○			
		2. 行政権と行政機能の拡大	○		○			
		3. 公正な裁判の保障		○		○		
		4. 地方自治と住民福祉	○		○			
		5. 政党政治と選挙制度	○	○		○		
2学期期末	第2部 現代の社会と人間	3 現代の経済社会と国民生活					a:近い将来、社会に出て労働者となる自覚のもとに、個人や企業、政府の経済活動に対する関心を高め、社会的責任について意欲的に追究しようとしている。 b:企業や政府などの経済活動がどのように社会に影響を及ぼしているか、消費者、生産者など様々な立場、考え方を踏まえて考察している。 c:企業や個人の社会的責任、政府の活動について、様々なメディアを通して情報を収集し、現実の動きと関連させてまとめることができる。 d:現代の経済社会の問題点について理解し、その背景や原因の知識を身に付けている。	授業時の発問 資料読解 課題プリントやノートの提出 定期考査
		第1章 現代の経済社会						
		1. 経済主体と経済活動の意義	○		○			
		2. 経済社会の変容	○	○				
		3. 市場のしくみと市場の失敗		○		○		
		4. 現代の企業	○		○			
		5. 国民所得と経済成長		○	○			
		6. 金融の役割			○	○		
		7. 財政の役割と租税、その課題		○	○	○		
		第2章 日本経済の特質と国民生活						
		1. 戦後復興から高度経済成長へ			○	○		
		2. 安定成長期からバブル経済へ			○	○		
		3. 日本経済の課題	○	○				
		4. 日本の中小企業と農業	○		○			
		5. 消費者問題		○		○		
		6. 労働問題		○		○		
		7. 社会保障問題		○	○	○		

3学期	第2部 現代の社会と人間	4 国際社会と人類の課題					a:冷戦終結後の国際政治や国際経済に関する諸問題に対する関心が高まり、国際連合などの国際的な機構・組織の果たす役割について意欲的に追究しようとしている。 b: 冷戦終結後の国際政治や国際経済に関する諸問題から課題を見いだし、国際連合などの国際的な機構・組織の果たす役割について多面的・多角的に考察し、日本の役割について口頭や文章などで適切に説明している。 c:国際政治や国際経済などの諸問題を様々なメディアを通して情報収集し、学習に役立つ情報を主体的に選択して活用している。 d: 国際政治や国際経済などの諸問題について理解し、現実の最新の動きと関連させながらその知識を身に付けている。	授業時の発問 資料読解 課題プリントやノートの提出 定期考査
		○変わるアフリカ	○	○				
		○人間の安全保障	○	○				
		○パレスチナ問題		○		○		
		第1章 国際政治への動向						
		1. 国際社会と国際法		○	○			
		2. 国際的な人権保障と国際政治		○		○		
		3. 国際連合と国際協力			○	○		
		4. 冷戦の成立とその崩壊		○		○		
		5. 今日の国際政治	○		○			
		6. 人種・民族問題		○	○	○		
		7. 軍拡競争から軍縮へ	○	○	○			
		8. 国際平和と日本の役割		○	○			
		第2章 国際経済の動向と国際協力						
		1. 貿易と国際収支	○		○			
		2. 外国為替市場のしくみ	○		○			
		3. 第二次世界大戦後の国際経済	○	○				
		4. こんにちの国債経済	○	○				
		○世界経済と新興国	○	○		○		
		5. 発展途上国の諸問題	○	○		○		
		6. 経済協力と日本の役割		○				
	第3部 ともに生きる社会をめざして	1. WTO体制と発展途上国		○		○		
		2. 個人の自由と持続可能な社会		○		○		

※ 表中の観点について a:関心・意欲・態度 b:思考・判断・表現
c: 資料活用の技能 d:知識・理解

※ 原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。